

日本イスペインヤ学会会報 1991年9月

— 第37回大会のお知らせ —

【期日】 1991年10月26日(土)・27日(日)

【会場】 神戸市外国語大学 〒651-21 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL 078-794-8121

— 大会プログラム —

10月26日

午前 11:00-12:00 理事会(楠ヶ丘会館)

12:00- 1:00 昼食

午後 1:00- 2:00 総会(第2学舎・503教室)

2:00- 2:30 休憩

2:30- 5:00 研究発表(第2学舎・503教室)

◎ 小池和良 動詞慣用句と複合動詞

◎ 木村琢也 スペイン人アナウンサーの発音に見られる〈偽(にせ)アクセント〉

◎ 片倉充造 エレンディアの指向するもの

◎ 福井千春 口誦理論と『わがシッドの歌』

◎ 近松洋男 中世スペイン語の関係副詞

5:00- 5:30 休憩

6:30- 8:00 懇親会(会費・約7千円)

10月27日

午前 10:00-12:00 研究発表(第2学舎・503教室)

◎ 渡瀬迪 オーディオ・ビジュアル・メソッドと第二外国語としてのスペイン語—事例研究—

◎ 吉田彩子 Vázquez Siruela と 〈Discurso sobre el estilo de Don Luis de Góngora〉

◎ 山下好孝 比較級 más que と más de の意味解釈

◎ 山崎信三 スペイン語のアクセント教授法上の問題点

12:00- 1:00 昼食

午後 1:00- 3:30 研究発表(第2学舎・503教室)

◎ 牛島信明 Ingenio の機能—セルバンテスとグラシアンの場合

◎ 上野勝広 アカデミア辞書のnauatlismoについて

◎ 高山秀幸 『百年の孤独』とその物語形式

◎ 染谷宏 「ラ・セレスティーナ」の諸問題

◎ 佐竹謙一 カルデロンのコメディアにおける静と動のアクションについて